

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公開番号】特開2009-48998(P2009-48998A)

【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-138525(P2008-138525)

【国際特許分類】

F 21 V 8/00 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

G 02 B 5/10 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21 V 8/00 601 E

F 21 V 8/00 601 F

G 02 F 1/13357

G 02 B 5/10 A

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月18日(2011.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を出射する光源部と、

入射面から入射した光を導光して出射面から面発光させる導光板と、

前記光源部から出射された光を前記導光板の入射面上で走査する走査手段と、を備える

面発光装置であって、

前記走査手段は、

前記光源部から出射された光を反射して前記導光板の入射面に入射させる螺旋状の反射部材と、

前記反射部材をその螺旋の中心軸周りに回転させて、前記反射部材で反射された光を前記導光板の入射面上で走査する回転制御部と、を備える

面発光装置。

【請求項2】

前記反射部材で反射された光を屈折して、前記導光板の入射面に垂直に入射させる屈折部材を、さらに備える、

請求項1記載の面発光装置。

【請求項3】

前記走査手段は、前記光源部から出射された光を走査する副走査機構、を有し、

前記副走査機構は、前記光源部から出射された光を反射して反射部材に入射させるよう
に形成された、

請求項1記載の面発光装置。

【請求項4】

光を出射する光源部と、

入射面から入射した光を導光して出射面から面発光させる導光板と、
前記光源部から出射された光を前記導光板の入射面上で走査する走査手段と、
前記導光板の出射面側に配置された表示パネルと、を備える画像表示装置であって、
前記走査手段は、
前記光源部から出射された光を反射して前記導光板の入射面に入射させる螺旋状の反射
部材と、
前記反射部材をその螺旋の中心軸周りに回転させて、前記反射部材で反射された光を前
記導光板の入射面上で走査する回転制御部と、を備える、
画像表示装置。